

飯田市子ども家庭応援センターの運営状況について

1 「ゆいきっず広場」

①ゆいきっず広場登録数

- プレオープン(6/3)から現在(11/2)までに、お子さん(未就学児)の登録数710人となりました。
- 0～2 歳代の子育て親子のご利用が全体比の約 80%と乳幼児期早期の親子交流のニーズの高さがうかがわれます(市内在住の0～2 歳代のお子さんの約 19%が登録済み)。

居住地域別内訳

市内	下伊那	県内他地域	県外	合計
598 人(84%)	78 人(11%)	11 人(2%)	23 人(3%)	710 人(100%)

年齢別内訳

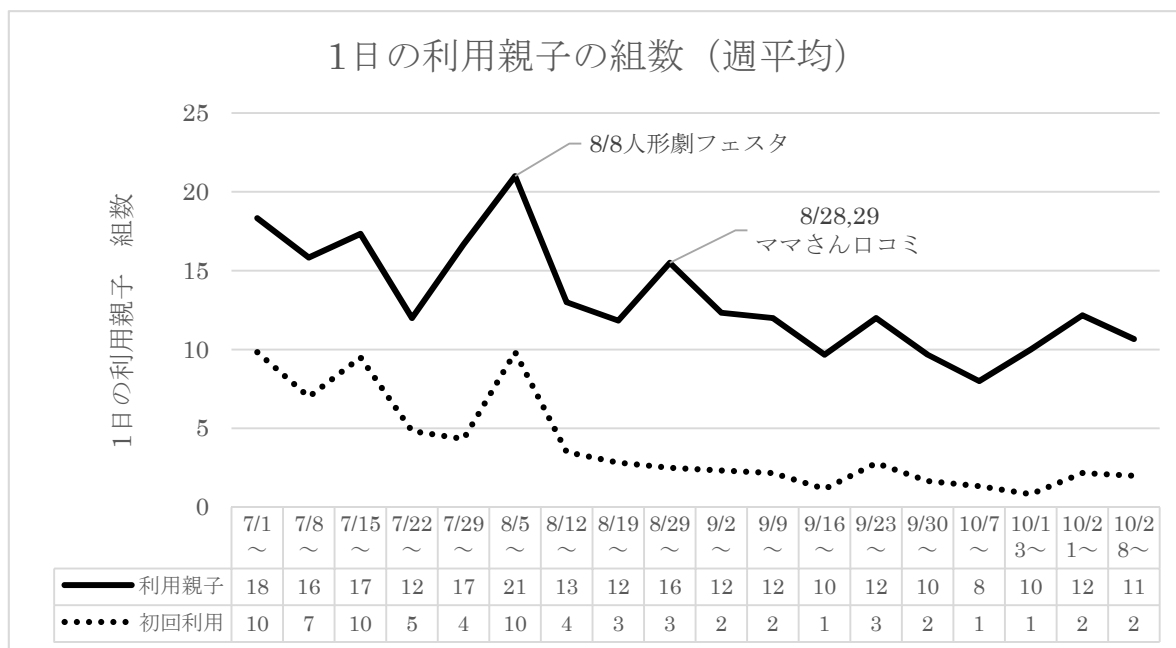
0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5～6 歳
202 人(28%)	214 人(30%)	149 人(21%)	69 人(10%)	39 人(5%)	37 人(5%)

②ゆいきっず広場利用状況

- 利用数・・・7 月 1 日～11 月 2 日、全 107 回で合計1416 組、1 日平均 13.2 組の親子のご利用があります。1 日あたりの利用親子(組)の平均を次ページに図示しましたので、ご参照ください。
- オープン当初よりしばらくの間は土曜・日曜のご利用が比較的少ない状況が続いておりましたが、市民周知が進むにつれて、次第に土曜日のご利用が増加してまいりました。併せて、父親や兄妹も含めた家族全員でのご利用していただき、平日とは違ったご利用の仕方として好評をいただいております。曜日別の利用平均数は下表をご参照ください。
- 親子でくつろぎの場として、子育てママ同士の情報交流の場として繰り返し利用くださる親子も増加しております。
- 広場利用者のご感想・ご提言(抜粋)・・・「色々な子どもの様子が見られて有難いです」「今度利用する時は子どもの名札を自作してきます」「身長・体重測定ができると嬉しいです」「ホッとできて子どもにも親にも良い場所です」
- 人形劇フェスタ期間中は 1 日平均 21.8 組と急増があり、市内在住者の他、東京など他県や隣接町村からも多数ご利用いただいたのに対して、お盆期間中は東海地域(愛知・静岡)から帰省した際のご利用が多数みられました。

曜日別利用数(組) 期間:7/1～11/2

	月	水	木	金	土	日
利用親子(組)	11.7	13.9	13.7	14.7	14.1	11.3



2 「ゆいきっず講座」

これまで実施した講座と受講数および今後の予定を下表にお示します。現状、いずれの講座においてもご好評いただき、多くの親子に参加いただいております。

日程	これまで実施した講座	参加親子	対象年齢
6月23日	ベビーマッサージ	17組	ハイハイ前の赤ちゃん対象
7月14日	中央図書館の職員による絵本の紹介と読み聞かせ	12組	0～3歳
7月28日	所長による「絆や信頼について」の話	12組	0～3歳
8月25日	栄養士による「離乳食」の話	15組	離乳期のお子さん
9月1日	保健師による「生活リズム」の話	14組	0～3歳
9月15日	塩沢先生による「親子体操」講座	13組	自立歩行のできるお子さん
10月20日	田平助産師さんの「断乳・卒乳」の話	先着15組	断乳・卒乳を考えている方
10月27日	劇団でんでんむし「お楽しみ劇場」	先着20組	2～3歳児

日程	今後のゆいきっず講座の予定	参加親子	講座の対象者
11月17日 10:00～	作業療法士さんの「親子でふれあい遊び」講座	先着10組	お座りができる子どもさん～2歳 未満の子どもさんと保護者の方
11月24日 10:30～	中央図書館の職員による 「絵本の読み聞かせ、絵本の紹介」	先着15組	0～3歳の子どもと その保護者の方

3 児童相談（上半期4～9月の状況）

①児童虐待防止に係る対応件数

こども家庭応援センターは、児童福祉法第25条に基づく「要保護児童対策地域協議会の調整機関」として、虐待通告を受け付け、緊急性の判断などを含む受理会議を開催し、子どもの安全確認など情報収集・調査に基づいて飯田市子育てネットワークによる支援の実施およびケース管理に努めております。本年度、上半期(4月～9月)で、当センターが対応した児童相談416件の内、養護相談(児童虐待相談・その他の相談)は127件に及んでおります。その年齢構成では0～2歳の児童が最も多く41件です。引き続き、児童虐待防止のため業務に当たって参ります。

児童相談種別	件数
養護相談(児童虐待相談・その他の相談)	127
障害相談	9
育成相談(性格行動・不登校・適性)	166
育成相談(育児・しつけ)	114
合計	416

養護相談(児童虐待・その他の相談)の年齢別件数	
年齢	件数
0～2歳	41
3～5歳	24
6～11歳	26
12～17歳	21
18歳以上	15
合計	127

②ゆいきっずの相談窓口の利用状況

18 未満の児童を対象とした、より幅広い子育て相談に気軽に応じられる窓口として、センター専門職が相談にあたり、関係機関との連携により支援につなげられるよう努めております。

センター開所前後で子育て相談件数を比較すると、特に0～3歳児の母親からの子どもの発達と子育ての相談件数に顕著な増加がみられております。

相談件数および相談者

	合計	母親	父親	所属機関	その他
4～6月	56	47	1	5	3
7～9月	75	68	2	3	2

子どもの年齢

	0～3歳未満	3歳～未就学	小学生	中高生	18歳以上
4～6月	18	20	36	6	6
7～9月	28	17	18	10	5

相談種別

	発達	子育て	虐待	教育	家庭環境	その他
4～6月	13	16	12	6	0	8
7～9月	20	37	8	5	2	3

③保育園・幼稚園の巡回訪問

積極的に子ども・子育ての課題の早期発見に努めるべく、市内の全ての保育園・幼稚園にセンター専門職が出向いて保育士の相談に対応しております。4月から9月に合計144件の相談が保育士より寄せられ、最も多くは、年長男児の対人コミュニケーションに関する内容です。

相談件数 年齢別

男/1～2歳	7
女/1～2歳	5
男/年少	24
女/年少	9
男/年中	26
女/年中	5
男/年長	50
女/年長	18
合計	144件

相談種別

対人コミュニケーション	70
知的・理解	42
多動・運動	17
家庭環境	9
ことばの遅れ	3
健康	3
感覚	0
合計	144件

④教育支援に係る相談対応件数

本年度からの教育委員会からの業務移管により、当センターが小学校入学および、在学中の特別な支援が必要な児童・生徒へ教育支援業務にあたっております。本年度の就学相談申し込み(下表)は9月末現在で、合計154件にのぼります。一人ひとりの児童にとっての適切な教育支援を保護者と共に実現すべく努めます。

就学相談	就学児	在學生	教育相談	合計
申込 件数	63	85	6	154